

LIST TS-911

SPEAKER SYSTEM



新素材、ハイテク技術がこれほど進んだ現代でも、たとえばバイオリンの場合、250年も前のストラディバリを越えるものがなぜ作れないのでしょうか？

音楽性や芸術性というものは人間の感性から生み出されるものだからでしょうか。

私たちが創るスピーカーシステムは単なる音楽再生装置とは思っていません。

人間の感性に直接訴える楽器のひとつだと思っています。

私たちと同じ感性を持った限られた方々に、私たちと同じ世界を共有してもらおう事、それが私たちの目的です。

リスト スピーカー システム TS-911

入力インピーダンス	8Ω
定格入力	30W (1kHz)
最大入力	50W (1kHz)
再生周波数帯	35-20,000Hz
能率	90dB (1W/m)
寸法	250 (W) × 250 (H) × 245 (D)
重量	8.5kg
SPユニット形式	平面全音駆動ダイナミック型フルレンジ、木製振動板 Wマグネット、定インピーダンスボイスコイル
エンクロージャー	鉄板及び銅板の合成材による2重構造密閉BOX

設計にあたっての基本姿勢

- 1、音楽を本当に楽しめるシステムの条件に、まずヒアリングにおいての“疲労感を感じさせない音”が条件と考えます。音の疲労感の原因の一つにネットワークのクロス周波数付近の位相ずれの発生、次に音源の位相差によるものがあげられます。本機は1本のユニットで全域をカバーし、平面の振動板によって位相差がない為、スピーカーと耳との距離が1メートル以内でも、長時間のヒアリングでの疲労感が極めて少ないと言えます。デッドな室内用として理想を追求しました。
- 2、スピーカーユニットは音響特性、電気特性共にフラットネスを目指した“真のフルレンジスピーカー”を実現しました。純鉄ヨークを採用した2つの磁気回路と直線のボイスコイルの駆動システムによって軽量で高剛性の平面板を動かし、これによってインピーダンス変動が極めて少なく（10%以内）、駆動エネルギーのばらつきが非常に少ない結果を生みました。ベースの最低音からシンバルの倍音成分までムラなく再生することはもちろん、微弱音からアタック音まで音楽成分を余すところなく再生します。
- 3、このフルレンジユニットの性能を引き出すエンクロージャーは、度重なる実験と試聴の結果生まれたもので、鉄板と銅板を合わせる事により共振の少ない、小型ながら極めて低いf0が達成されました。このエンクロージャーとユニットの組合せで共振の少ない自然なバランスが得られます。

(問い合わせ先)

株式会社 調 所 電 器